



FUKUCHI

Public
Re-interview

No. 68
December

広報ふくち

特集◎

未来へのまなざし

福智の教育をみつめて



2010
12

テーマは「未来へのまなざし」。
情報の共有がスタートラインです。

教育が人材をはぐくみ、人材が地域や町を支える…。
その営みは次代へと引き継がれていくものです。
現状と将来を見据え、子どもたちのために必要なものとは何か。
いま、この町で、一人ひとりの大人が真剣に考えるべき岐路に立っています。

小学校では「外国語活動」が取り入れられます。
来年度から全面実施され、およそ30年ぶりに授業時間が増え、
政府は、国際的に見た日本の学力低下に危機感を覚え、学習指導要領を改訂。
しかし、その内側は時代とともに変わってきています。
いつもとは変わりのない校舎の風景に、変化など感じないわたしたち。

子どもたちにいま何が求められ、何が足りないのか。
周囲はどうかかわればいいのか。
目を向けなければ、何も見えてきません。
知らなければ、考えることも、意識や視点を変えることもないでしょう。

のどかな上野の通学路に、
子どもたちと大人の会話が響きます。
「家庭や地域に学校の姿や取り組みを知ってほしい」
そんな上野小の思いが詰まった「学校だより 上野っ子」。
昨年からは保護者だけでなく、校区内の全7百世帯に届けられ、
その情報共有が実を結び始めています。
学校から校区全域に発信されるメッセージは、
児童にそがれる地域のあたたかいまなざしとなって、
少しずつ返ってきています。

「今日は社会科見学の日やろ、どこ行くん？」

「福岡タワーばい」
「一番上まで登るんよー」

「そりゃー福智山よりキツイかもしれんねー」

上野小4年生が待ちに待った11月9日の朝、
登校での会話は社会科見学の話で持ちきりでした。
福岡タワーやプラネタリウムなど、福岡市内への見学を楽しみにしていた子どもたち。「学校だより 上野っ子」で学校行事を把握していた城戸健二さん（上野）が、散歩の途中で顔なじみの子にやさしく声をかけます…。ほほ笑ましい場面から、すがすがしい1日が始まりました。

特集

未来へのまなざし

福智の教育をみつめて

④ つまずきの克服（小中一貫教育とは）

「中1ギャップ」をはじめ、学校現場が抱える多くの課題の解消を目指す一つの手段として、文科省が推進する「小中一貫教育」が、いま全国で注目を集めています。

9年間の成長を連続でとらえるこの制度は、学力向上はもちろん、異学年の交流から豊かな人間性や社会性をはぐむ効果が期待され、導入した先進地は、小中の情報共有や連携、一体的な対応によって、不登校や問題行動が激減したと成果を発表。現在、全国的に今後の小中学校のありかたについて模索されています。



←町教育委員会でも検討

福智の子の課題

テレビゲームをする時間が長い

中学生の家庭学習時間が短い

薬房見学やテレビのニュースに関心が少ない

Q. 学校の授業以外に、平日1日どれくらい勉強しますか？

→「1時間以上」と答えた中学3年生の割合

全国 66.2%

福岡県 61%

福智町 43%

「全くしない」は22%でした。



各校の活動紹介②

金田小 言葉の学習

いじめにつながる「言葉」を見直すため、金田小では全学年で言葉づかいを指導。あたたかい言葉を集めた「なかよしカルタ」も全児童で作成しました。

interview

まず大人が心を一つに

教育現場には今、多くの課題があり、学校・家庭・地域の分業論は限界が来ています。「学校が悪い」「家庭が悪い」というスタンスではなく、先生と保護者、また保護者同士も、福智の子どもを育てる

同じ大人として、強く連携する必要があります。互いに心を開いて

一歩踏み出せば、何かが変わるはず。今後さらに課題を出し合ってコミュニケーションを図りたいと思っています。

金田中PTA
尾崎 真二 会長

学びと心のつまずき

学ぶ意欲は、子どもたちの心の健康とも密接につながっています。例えば、小学6年生は多感な思春期に、今までと環境の違う中学校というステージへ飛び込んでいきます。学習や生活の変化になじめず、いじめなどが増加する「中1ギャップ」と呼ばれる現

高めることができますが、そこには家庭と地域が深く関わっています。

象が起こるもの。このところ、文科省の調査によると、小6から中1にかけての1年間で、いじめは1.8倍、不登校は3.1倍、暴力行為は4.3倍に急増しています。このような状況は福智町も例外ではなく、子どもたちの学ぶ意欲に影響を及ぼしていることは言うまでもありません。

学校現場が「中1ギャップ」をはじめとする多くの問題を

抱える今、その解消を目指すために、周囲の大人が子ども

たちの心に寄り添える環境づくりが求められています。

「全国学力・学習状況調査（4月実施）」の平均正答率（%）

→県内6教育事務所、政令市（福岡市・北九州市両市）、全国および福智町の平均

	小学校（6年生対象）				中学校（3年生対象）			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
福岡	83.9	77.2	73.6	49.2	77.1	70.5	66.6	47.7
北九州	80.9	72.8	72.2	46.2	73.4	65.6	58.3	38.8
北筑後	83.1	75.9	72.2	48.8	73.9	67.0	62.1	42.7
南筑後	83.9	77.1	74.8	51.0	74.3	67.8	61.2	42.9
筑豊	79.3	69.1	68.9	43.2	68.3	58.9	52.5	33.3
京築	82.6	74.2	73.1	47.1	72.0	62.1	59.3	37.8
政令市	83.2	75.9	72.8	49.3	75.8	68.8	63.5	44.3
全国	83.3	77.8	74.2	49.3	75.1	65.3	64.6	43.3
福智町	79.3	69.1	71.4	43.7	68.9	60.5	53.4	33.1

A：基礎 B：応用

子どもたちの今をとらえる

このままでいいのか

「比較することはよくない」。学力を考えると、まずこの言葉が議論にあがります。しかし将来、競争化が加速した厳しい社会に立つのは、子どもたち自身です。地域が抱える「学力低下」という深刻な課題。この克服のためには、表面だけではなく、その本質に目を向ける必要があります。

全国で示された福智の学力初公開

筑豊地区の学力が危ない。9月に発表された「全国学力・学習状況調査」の結果で、全国や福岡県の他地区より、筑豊地区の学力が、かなり低いことが明らかになりました。福智町は、筑豊地区の中ではやや上の位置ですが、筑豊地区は、小・中ともに県内で全項目の正答率が最も低い結果となっています。

根底にある学ぶ意欲の低下

学力低下の要因は「学ぶ意欲の低下」にあるといわれています。学ぶ意欲とは、目標の達成や課題の解決に向けて、自ら学び、考え、最後まで取り組もうとする気持ちや態度のこと。学習面はもちろん、生活面や体験活動など、

あらゆる場面での「学びたい」「知りたい」といった前向きな意欲も含まれます。

今の子どもたちが抱える「生活リズムの乱れ」「体験不足」「学ぶ意義を理解していない」「人間関係を築けない」などの問題が「学ぶ意欲の低下」につながっています。

各校の活動紹介①

市場小 研究授業

教員同士が授業を評価し合う校内研修を町内各校が実施。市場小では、全国の有名教師を招いた研究授業も行われ、指導力の向上に努めています。



福智も先駆けた「少人数学級」全国展開

合併時から「教育の町」を目指し、町が教員を採用する「少人数学級」を実施している福智町。このことにより「子どもと向き合う時間をしっかりと確保する」「子どもの特性を見つけ、個性をのばす」「習熟度に合わせた授業を行う」など、一人ひとりに、よりきめ細かな教育を行うことが可能になっています。

今年8月、文科省は30年ぶりに40人学級を見直す案をまとめ、来年度から段階的に実現させていく方針です。「少人数学級」は今、全国的な取り組みへと発展しています。



←町の施策の少人数指導

Interview

より大きな夢が描けるように

福智の子に、どのような将来の目標を描かせられるか。夢を抱かせることができるのか。それが教育の原点であり、一つの成果だと思っています。学力向上や不登校の解消、規範意識の育成など、教育現場が直面する課題は山積しています。しかし、子どもたちが夢や希望を持ち、その実現のために何が必要なのかをわたしたちが共に考え、動き出すことができれば、多くの課題は解決できるものだと思っています。そのためにも子どもたちには「学ぶ力」と「生きる力」が不可欠。「学ぶ力」は身となる知識を生み出し、さらに体験の上積みによって「生きる力」が培われるのです。子どもたちは、自分の力を実感しながら、困難を乗り越え、より大きな夢に向かっていくことができる…。子どもたちにとって夢が欠かせないように、大人たちや教育にもロマンが必要だと思っています。

福智町教育委員会
嶋野 勝 教育長

次代に不可欠な「生きる力」

大量の情報が行き交い、競争と技術革新が絶え間なく起こる「これから」の社会を生きていく子どもたち。とても学力だけで対応できる社会ではありません。そこには「課題を見つけ解決する力」「コミュニケーション能力」「多様な観点から考察する力」「情報を取捨選択できる力」など、広い知識と柔軟な頭で、新しい「知」や「価値」を創り出す力が求められます。それらは、厳しい社会を生

き抜いていくために必要とされる「生きる力」の一部。これからの教育では、この「生きる力」の育成が主題となっています。

「生きる力」とは、「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」という「知」「徳」「体」が育成され、バランスのとれた力のこと。「学ぶ力」を活用して、自ら考え、判断し、表現することで、激動の時代に適応し、逆境を乗り越えていける力を指します。それはいかなる場面でも、発揮でき、生かされる力でなくてはなりません。

各校の活動紹介④

弁城小 体力づくり

毎朝の「パワーアップタイム」で5分間走を行い、体力と忍耐力の育成を図る弁城小。11月10日の「大なわ大会」では、1～6年生までの縦割り班で協力し合い、力を出し切りました。



「生きる力」がなければ、子どもたちは将来、自分らしく生きていくことができません。たとえ自分の思い描いた道や目指すべき道を見つけたとしても、いくつもの小さな壁につまずき、自分を見失ってしまいます。

「生きる力」が、夢や目標を持つて意欲的に挑戦しつづけ、いきいきと目を輝かせて生きていける将来の大人をはぐくみます。激しい変化と厳しい時代の波に淘汰されない「ひとり立ちできる子ども」の育成が、今まさに必要とされています。

学びの基礎体力「学ぶ力」

多くの子どもは「今なんて学ぶのか」「そのことが将来の自分にどうつながるのか」を理解できないまま学び、それが「与えられた人生を精いっぱい生きるための学び」であることに気付いていません。入学して社会に出るまでのわず

か十数年間が、社会に出て人生を全うするまでのはるかに長い人生を左右するという現実を認識できていないのです。

基礎的な知識や思考能力が無ければ、何が正しくて、どれだけ大切なかを判別できません。つまり、基礎学力がなければ、生きていくうえで必要な理解や判断ができないことになります。

人の一生は「学び」の連続です。だれもが生まれて間もないころは、命や生活をすべて親や他人にゆだねています。そこから成長していく過程の中で、生きるために多くのことを学んでいくのです。学校での勉強は、そんな「学び」の一部。子どもは「勉強する」ことをとおして「考える力」や「理解する力」などの「学ぶ力」

を身につけていきます。この学びの基礎体力のもとに知識が積み上げられ、その一部がテストなどの「成績」に表れます。教科書の内容を詰め込み、暗記することは、すぐに「成績」として評価されますが、今後の長い人生を生きていくうえで本当に必要なのは、生きた知識を自分のものにしていく「学ぶ力」です。



10月22日に市場小、金田小、伊方小の児童271人が福智山を目指した鍛錬登山。3校の子どもたちは山頂から町を見渡し、雄大な展望と大自然の中で自己の存在を見つめました。

学びの根本を見直す

「学ぶ力」と「生きる力」



これまでの、すべての子どもたちに一定の学力をつけさせることが目標で、それが時代の要請でもありました。しかし、これからの教育は「ゆとり」でも「詰め込み」でもありません。「学ぶ力」をベースに、厳しい社会を生き抜く「生きる力」をはぐくむことが柱になります。



各校の活動紹介⑤ 伊方小 職場体験学習

通常中学で取り組む職場体験を6年生が行う伊方小。仕事の厳しさややりがいをおして生きる力を身に付け、貴重な体験から将来の夢と可能性を広げています。



声を出す出題が多いので、授業の導入に取り入れることにより、良いウォーミングアップになっています。

伊方小 太田 優子 先生



分かる問題が増えてくると、自分が成長したようでうれしいです。これからいろいろな問題に挑戦していきます。

伊方小6年 平島 碧依さん



今回導入されたソフト「タマキュー」には次のようなコーナーが画面展開します。

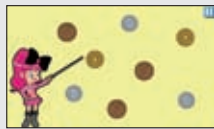
©2010 NAMCO BANDAI Games Inc.



●世界のおハロー！
各国のあいさつや方言などを発声し、地理感覚を養います。また、そこに住んでいる人々の生活についても紹介します。



●いきなりグルヴィー！
「魚」や「花」などさまざまなものの名前をリズムにのって発声。ものごとを関連付ける連想力や分類力を養います。



●瞬間！メモリーズ
簡単な計算や硬貨の総額など、表示された情報を読み取り即座に判断する、認知力と判断力を養うコーナーです。



●音読！まかせな亭
日本語の豊かな表現や英語の発音に親しみます。ことわざや四字熟語は理解しやすいビジュアルで表現されます。



●突撃トーク塾！
ものの数え方や業界用語、略語、回文など、さまざまな言葉を取り上げ、その面白さや社会とのかかわりを探ります。



●知ってる？アソビーノ！
しりとりや文字探しなど、対抗戦などのコミュニケーションゲームをとおして、競争心から学習意欲をはぐくみます。



●みつめてガッチャ！
4つの視点の写真から、何が写っているのかを推理するコーナー。物事を様々な角度から見る習慣につなげます。



●どこでもディスカバリー
学校内を探索する「宝探し」の楽しさをおして、身近なものへの興味と観察眼を養う「宿題」コーナーです。



●どっちでショッピング
似ているものの違いを認識するコーナー。正解者数によって金額がたまる仕組みで、金銭感覚もはぐくみます。

コンセプトは あたまの給食

出題は3百問。文化や食育など、教科にとられない幅広い分野から、頭のエクササイズを中心とした問題が次々と展開されます。子どもの好奇心を刺激するアニメ風キャラクターや写真などの豊富な視覚要素に、ドキドキするような効果音も加わり、思わずのめり込んでしまう内容。

開発を担当したバンダイナムコゲームスの一木裕佳さんは「コンセプトは『あたまの給食』。給食みたいに毎日違う頭の栄養がたっぷり」と、福智の子に託した希望を語りました。



バンダイナムコゲームス
ゼネラルマネージャー
一木 裕佳さん

学ぶ力の転換点 かつ起爆剤に

このシステムの一番の目的は、一方的に教えられるのではなく「学びたい」という気持ちにさせる「学ぶ姿勢の転換」にあります。「学ぶこと、知識を得ることは楽しい」と意識付けることで、疑問を意欲的に追求する資質を高め、それがやがて新たな学びへと発展します。自らが主体的に得た知識は確実に身となり、子どもたちは学びの力を実感していきます。

勉強でも遊びでも「その気」になった子どもは、大人の想像を超える力を発揮するもの。子どもたちの身近に置いた「学ぶ意識の転換点」が、大きな成長や可能性の開花につながっています。

Interview

新たな学びの発展に期待

出題では、特産品や観光史跡など、福智町独自の内容も豊富。身近な問題も出されます。例えば「校内の蛇口の数」を調べる出題が学びの糸口となり、さらに町の浄水場が紹介され「自分の生活と水道とのつながり」へと展開していきます。この展開のように、新たな学ぶ意欲や愛郷心が子どもたちの心に芽生え、発展していくことを期待しています。

ユビキタスシステム
整備地域協議会
山本 貢 会長

やらされるのではなく、自らやる。
子どもたちの効果的な学びに欠かせない要素です。
これまで「勉強の妨げになる」と考えられてきたゲームの力。
その力を逆に活用する日本の新たな教育システムが、
福智町をモデルに開発されました。

学ぶ力を引き出す

日本最新の教育 システム導入

子どもたちが真の「学ぶ力」を身につけるための起爆剤として、町内すべての小学校で「ユビキタスエデュテイメントシステム」が動き出しています。

国内最先端の 教材が福智町に

話し掛けても返事が無い、空腹すら忘れている…ゲームに対する子どもの集中力は、多くの家庭で実感しているのではないだろうか。このゲームの魅力や子どもをひきつける力を活用した「楽しみながら学べる」という理想的な学習スタイルに、東京大学大学院の馬場章教授が着目。研究を重ね、学習意欲や知識定着度の面で効果があることを実証しました。

その馬場教授の監修のもと「バンダイナムコゲームス」がシステムを開発し、「NTT西日本」が基盤整備した国内最先端の教材「ユビキタスエデュテイメントシステム」が、今年9月、福智町のすべての小学校に導入されました。この事業は、総務省が進める「ユビキタスタウン構想」の教育面における西日本のモデルとして福智町の小学校5校が選ばれ、国の交付金約6千万円を受けてスタートしたものの。伊方小が拠点校となり、平成25年度までの4年間、利用度や理解度などが研究されます。

今年9月から51インチの大型モニターとパソコン計33台が町内の5校に配置されました。

総務省のユビキタスタウン構想

ICT（情報通信技術）を効果的に活用し、便利で安心・安全なまちづくりを実現させるという総務省による取り組み。「ユビキタス」という言葉には「いつでも、どこでも、だれでも」などの意味があります。この「ユビキタスタウン構想」を教育面で実施しているのは、日本で小諸市（長野県）と福智町のみ。

少なくなる 学びと体験の場

愛情を持って子どもを叱ることは、誉めて伸ばすことと同様に大切なこと。しかし今、近所の子を叱ることをタブー視する風潮や、地域活動に参加しない家庭が目立ち、それを受けて、地域の取り組みも縮小しています。現に、地域を挙げた一大イベントの「祭り」が継続できない地域も急増。かつていた、子どもにとつての「近所のこわいおじさん」の姿もみられなくなりました。子どもたちに「声かけ」「叱る」「諭す」ができる関係にまで至らず、ましてや名前も知らないといった人間関係の希薄さが顕著になっています。

しかし、子どもたちにとつての学びは年中無休。目の前が常に成長の場です。学校だけでなく、家庭や地域で過ごす全ての時間をおして社会性を学びます。子どもたちが小さな体験を「生きる力」として獲得していける地域社会や意図的な体験学習の機会が求められています。

国が初めて 体験の力を実証

子どもたちの体験不足と体験の重要性は広く知られていますが、これまで、その影響に関する実証的な調査はほとんどありませんでした。そのような中、今年10月に発表されたばかりの国立青少年教育振興機構による「体験の力」の調査研究結果は、今後、全国における体験活動の貴重な資料として位置づけられるものです。

研究では、子どもたちの体験が将来どのような効果を与えるのかを調査した結果、体験が多いほど「自尊心」「共感性」「意欲・関心」「規範意識」「人間関係能力」「職業意識」「文化的作法・教養」が高いことが示されました。さらに「最終学歴」「年収」という社会的な地位が高いという結果も、明らかになっています。

報告書では、子どもたちの「生きる力」を大きくむ自然・生活・社会体験の積み重ねと機会や場の充実が大きな課題だと提唱されています。

生きる力を積み重ねる

目の前の 全てが学舎

人は経験からモノを言います。
聞いたことは忘れますが、体験は忘れません。
「生きる力」も体験によって培われます。
子どもたちは自然や社会との関わりから、
より豊かで、生きた知識を得ながら
学ぶ意欲を高めていきます。



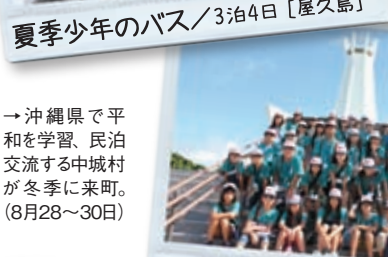
通学合宿とは、児童が親元を離れて地域の施設に寝泊りしながら学校に通う福岡県発祥の取り組み。今年、福智町では応募抽選を経た1年から6年までの伊方小児童18人が寝食を共にしました。子ども会育成連絡協議会（子育連）が主体となって、延べ130人のボランティアが見守り、子どもたちは自分と家庭を見つめ直しました。

特色ある体験の場

福智町 今年の体験事業一部紹介



←動植物の宝庫、世界遺産の屋久島で貴重な大自然を体感。
(7月21～24日)

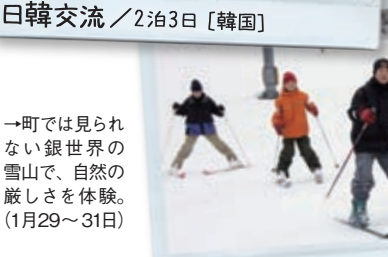


→沖縄県で平和を学習、民泊交流する中城村が冬季に来町。
(8月28～30日)



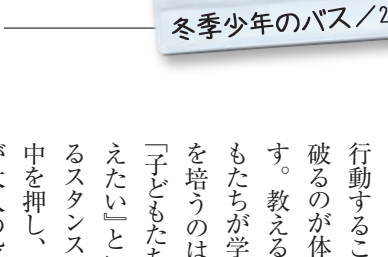
少年の翼／2泊3日【沖縄】

←上野焼開祖ゆかりの韓国四川市で国際交流。
(10月8～10日)



日韓交流／2泊3日【韓国】

→町では見られない銀世界の雪山で、自然の厳しさを体験。
(1月29～31日)



冬季少年のバス／2泊3日【広島】

生きるチカラの 小さなカケラ

子どもたちが気づき、感じ、行動することで、自らの殻を破るのが体験学習のねらいです。教えるのではなく、子どもたちが学ぶもの。生きる力を培うのは子ども自身です。「子どもたちに『やりたい』『覚えたい』という気持ちにさせるチャンスが大切。そつと背中を押し、手を差し伸べるのが大人の役目」と、永末さんは事業の経験から、子どもとの距離感を重視しています。

体験学習には成長に合わせた効果的なプログラムがあり、福智町の取り組みもそれを踏まえて対象年齢や内容が設定されています。そこでは、ほんのカケラかもしれませんが、子どもたちが主体的に「生きる力」を手にします。家庭や地域で、そんなカケラが積み重なるような取り組みが増えれば、必ず子どもたちが将来生かせる大きな力になります。やがて経験に基づいた成功は、自信へとつながり、「生きる力」として、人生の礎となっていくのです。

かつてのヤマが語るメッセージ

「毎日朝食を食べる」「お手伝いをする」「親子でルールを決める」「あいさつをする」「話す」これらは、家庭ではごくむ「生きる力」として、文科省が掲げる項目です。しかし、昔はどれも当たり前のことではなかったでしょうか。

かつての炭鉱の時代、親にとって子どもは生きがいでした。貧困が子どもたちの先生でした。仕事を手伝い、労働の厳しさと楽しさを覚え、経験から危険を知り、共同生活で助け合うことのすばらしさと社会の秩序を学びました。わが子のように接し、声を掛け合い、時には叱る。そんな炭鉱の路地で、子どもたちは学校では教わることのない「生きる力」を吸収していきました。今はなき「強いつながり」が、あの路地にありました…。

家庭は教育の出発点。「生きる力」の基礎的な資質や能力は、家庭で培われます。昔は子どもたちが家庭や地域で得ていた「生きる力」を、今は学校でも育成しなければならない時代。「学校が悪い」「地域が悪い」と分野を切り離すのではなく、学校・家庭・地域が手を携えなければ立ち行かない状況になっています。



炭鉱の路地

町と子どもたちの未来のために

かつて家庭や地域は、子どもに希望を託し、未来を重ねました。しかし、その思いは近年薄れつつあります。いつの時代も子どもたちは次代を担う存在であることに変わりはなく、子どもたちの将来とわたしたちの未来はつながっています。

子どもたちに蒔いた種は、成長の過程で開花します。その可能性は無限大です。だからこそ、教育に完璧な手法はなく、常に子どもたちの学びを模索する必要があります。いまの教育に無関心であることは、学びの芽が枯れ、将来のまちの展望が開ざれるのを見過ごすことを意味します。わたしたちは学びと体験の種をにぎり、子どもたちに蒔き続けなければなりません。

このまちの「共育」を実現するためには、まずすべての大人が子どもたちの姿に目を向け、同じ方向を目指す必要があります。わたしたち一人ひとりに、できることがきっとあるはず。子どもたちに向けられた未来へのまなざしが、いつしか行動へとつながることで、少しずつでも確かに、子どもたちをはぐくむ環境を変えていくことができます。次代に誇れる「共育」のまちづくりを、いま、ここから。すべては子どもたちとこの町の未来のために…。

子どもたちは、次代を築く大切な宝であり財産。
将来のある原石を磨くのも曇らすのも周囲次第です。
その成果は、わたしたちの未来に跳ね返ってきます。
そこで求められるのが、共にはぐくむ「共育」の実現。
それは決して理想ではなく、子どもたちに向けられる
一人ひとりのまなざしから創り出されます。

共育の風をこの町から

学校・家庭・地域ではぐくむ

変わらなければ 変えられない

子どもたちをはぐくむ現場を見つめてみると、見えてきたものがあります。深夜まで教材を作る教室の明かり。児童を背負って福智の山頂を目指す後ろ姿。小さな成長に肩をたたいて応える笑顔。先生たちは真剣でした。仕事の疲れも見せずに自分の時間を削り、ボランティアで子どもたちと向き合う大人のまなざしを見ました。雨の日も登下校を見守り、やさしく声をかけるお年寄りの姿がありました。地域の大人も一生懸命でした。

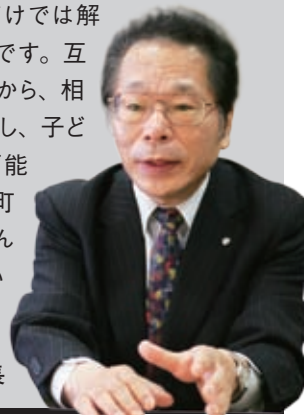
しかし、まちを見渡せば、そういった場面はごく一部分でしかなく、そこに携わる人は、ほんのひとりにすぎることにも現実でした。

子どもたちの学力や今後求められる教育の課題は深刻です。この現状は、激変してきた社会の悲鳴のようなサインなのかもしれません。学校教育の限界や地域教育力の低下が叫ばれ、閉塞的になっているからこそ、学校・家庭・地域が連携して子どもたちをはぐくむ「共育」が必要です。学校の枠にとらわれず家庭や地域を含んだ「共育」の環境づくりが、子どもたちの学びと体験の幅を広げ、

人と町の可能性を高める共育

人づくりを将来的な町づくりにつなげることが、教育を施策の柱にしたねらいです。町の教育環境が変われば、子どもたちが変わる。また、教育をとおして子どもたちが変われば、町も変わり、イメージも高まります。将来への展望が持てる教育環境は、定住化と町の活性化につながっています。教育への関心には温度差があるでしょうが、まずは子どもとかわる目線を持ち、共にはぐくむ環境づくりに町全体で参画していただきたい。そのような視点が、将来的に多くの効果をもたらします。現在の教育課題は、複合的な原因によるものが多く、学校だけ、家庭だけ、地域だけでは解決できないものです。互いの連携と協働から、相乗効果を生み出し、子どもたちと町の可能性が高められる町づくりをみなさんと共に目指したいと考えています。

浦田 弘二 町長



各校の活動紹介 ⑤ 上野小 伝統文化活動

上野小で地域のボランティアが指導にあたる「琴・三味線」「茶道」クラブ。今年度新設され、互いに交流を深めながら子どもたちの豊かな心をはぐくんでいます。



子どもたちの未来を変えます。学校の理念や制度だけでなく、家庭や地域の意識も変わらなければ「共育」のまちづくりは前に進みません。

互いにはぐくみ、はぐくまれて。

福智町高齢者大学を受講するみなさんが、11月11日に市場小で昔遊びを伝えました。高齢者大学と市場小による初めての取り組みです。子どもたちの学びと体験の空間は、大人の体験が生かされ、互いに成長する場。わたしたちはいつでも生きる力を生かし、生かされる関係にあります。新しい「共育」の環境づくりは、互いにはぐくみ、はぐくまれる力と魅力を秘めています。

特集 未来へのまなざし
福智の教育をみつめて／おわり

参加募集

児童センター親子もちつき大会

**昔ながらの恒例行事
もちつき体験を親子で**

☎ 福智町方城児童センター ☎ 22-7403

児童センターでは、年間をととして親子で楽しめる行事を企画して行っています。今回は伊方小児童が植えて収穫したもち米の寄贈を受け「親子もちつき大会」を開催します。つきたてのおもちと一緒に楽しみましょう。

▶日時 **12月12日** 日 9時～ **参加無料**
▶場所 福智町方城児童センター（伊方4488番地1）
※事前に電話での申し込みが必要です。ぜひ親子でご参加ください。



←親子で心をつにしていたおもちがきつと格別の味、つきたてをご賞味ください。

参加募集

青少年育成町民会議「冬季少年のバス」

**一面の銀世界へ
ココロ踊る少年のバス**

☎ 福智町教育委員会 生涯学習課 ☎ 28-2046



←チームワークを大切に、事前研修からスタッフがスキーを指導します。

雄 大な自然を背景に、集団生活をととして、たくましい心と体をはぐむことを目的とした「冬季少年のバス」が発売します。真っ白な雪山を体験してみませんか。

▶期間 1月28日 日～30日 日（2泊3日）
▶場所 広島県山県郡安芸太田町 ホワイトバレー松原
▶対象 小学校6年生～中学校2年生まで
▶定員 40人【定数を超えた場合は抽選になります】
▶費用 6千円 ※レンタル料は別途個人負担です
▶募集期間 12月6日 日～10日 日 8時30分～17時15分
※電話での申し込み受付はできません。詳細はお問い合わせください。

お知らせ

ごみ・し尿収集の休業日

**年始に備えた大掃除
休業日のご確認を**

☎ 福智町役場 住民課 環境衛生係 ☎ 22-7761

年 末年始は、ごみ・し尿収集業務が次の期間休業します。し尿収集は業者によって休業期間が異なりますので、みなさんのご理解とご協力をお願いします。



▶ごみ収集休業期間

12月30日 日～**1月3日** 日

※清掃センターへの直接搬入は29日までです。可燃ゴミの収集が 日・ 日の地区は1月6日まで収集がありませんので、ご注意ください。

▶し尿収集休業期間

かいた環境衛生
☎ 28-3377

12月30日 日～**1月3日** 日

吉田環境整備
☎ 22-0221

12月30日 日～**1月4日** 火

筑豊衛生環境
☎ 22-1054

12月30日 日～**1月4日** 火

参加募集

日王山初日の出登山

**年の幕開けを山頂で
日王山から拝むご来光**

☎ ふれあい塾を支える会 竹宗会長 ☎ 090-1342-6345



←四囲を妨げるものがない見晴らしから、初日の出を拝んでみませんか。

元 日の日の出前にスタートし、日王山（神崎）の山頂を目指す「初日の出登山」。標高は約200mで、高齢者やお子さんも参加できます。下山後には「ソバゼンざい」「宝くじ」「記念品」などをご用意しています。

集合：5時30分～
▶日時 **1月1日** 土 出発：6時 **参加無料**

▶集合場所 ふれあい塾キャンプ場（☎ 22-5400）

▶持参する物 懐中電灯、登山向きの靴、防寒具など

※雨天などによる中止は前日夜8時に決定しますのでご確認ください。

イベント

第1回 福智町暴力等追放町民大会

**暴力根絶を願って
明るい社会への第一歩**

☎ 福智町役場 総務課 庶務係 ☎ 22-0555

県 および県内の市町村で暴力団排除条例が施行され、積極的に暴力追放運動がされている中、町でも、第1回目となる「福智町暴力等追放町民大会」を開催します。暴力団との関係を断ち切り、暴力に屈しない明るい町づくりを進めるためには、官民一体となった町全体の取り組みが必要です。ぜひ多くの方のご参加をお待ちしています。

▶日時 **12月12日** 日 受付：9時30分～ 開会：10時
▶場所 福智町地域交流センター（伊方4478番地1）



←田川地区でも今年8月、暴力追放をめざす決起集会が開かれました。

イベント

福智町人権講演会

**人権が守られる
地域社会を目指して**

☎ 福智町役場 人権同和対策課 ☎ 22-7764

▶日時 **12月19日** 日 受付：9時～ 開会：9時30分
▶集合 福智町地域交流センター（伊方4488番地1）
▶テーマ 「～DV・虐待・いじめにNO！～暴力をゆるさないまちづくり・ひとづくりを目指して」

町 では、人権問題に対する正しい理解と知識を深めることを目的に、人権講演会を実施します。今回の講師の藤木美奈子さんは、父親が在日コリアンで貧しい母子家庭に育ち全国を転々。いじめ、児童虐待、DVなど暴力の被害体験をもとに話す講演は、多くの人に感動と気づきを与えます。困難を乗り越えた人にしか語れない貴重な講演を、ぜひお聴きのがしなく！



←虐待やDVなど自身の経験をもとに、講演活動に取り組む藤木美奈子さん。

お知らせ

臨時・嘱託職員随時募集中

**町の臨時職員と
嘱託職員を募集します**

☎ 福智町役場 総務課 人事係 ☎ 22-0555

臨 時職員・嘱託職員を随時募集しています。応募者は登録者名簿に1年間登録し、その中から、欠員などの必要に応じて選考採用します。

▶対象 18歳～60歳まで
▶職種 一般事務、保育士、調理員、老人ホーム指導員（調理・当直ができる人）、プール指導員（水泳ができる人）など
▶賃金 職種に応じて異なります
▶申込方法 履歴書を役場総務課人事係まで提出してください。資格が必要な職種は、免許書の写しを添付。



お知らせ

平成22年度 福智町成人式

**人生の門出を祝して
福智町成人式開催**

☎ 福智町教育委員会 生涯学習課 ☎ 28-2046



←当時にタイムスリップしたような思い出話ができるのも楽しみの一つ。

新 成人の門出を祝って開催される福智町成人式で、懐かしい顔に再会しませんか。町内在住の対象者には11月中に案内状を送付しています。町外に転出した人も参加できますので、生涯学習課までご連絡ください。

▶日時 **1月10日** 祝 受付：9時～ 開会：10時
※最後に集合記念写真の撮影を予定しています。
▶場所 福智町地域交流センター（伊方4478番地1）
▶対象 平成2年4月2日～平成3年4月1日生まれ



作品展示

展示会場には2日間で延べ4千人が来場。子どもの成長を感じさせる力作に感嘆の声が上がっていました。

「ジューツ」という音と食欲をそそる香りが漂う中、出店者の呼び声や来館者のにぎやかな会話が響いた文化祭会場。11月6日から2日間、公民館金田分館と金田体育館の前には、露店やバザーなどの特設テントが並びました。およそ4千点の作品が飾られた両館内には、日ごろ培った感性が表された成果が勢ぞろい。バラエティーに富んだ力作が見る人の足を止め、その世界へと引き込んでいました。



文化の祭典

音の花火で開幕が町中に知らされ、オープニングセレモニーから華々しくスタートした福智町文化祭。11月6日から3週にわたり、町は福智のアーティストたちによる多彩な文化に彩られました！



イベントは商工会が企画し、初開催の「ちくまる君とのお絵かき大会」には38人が参加。露店やお茶席、手芸体験などの催しも大盛況でした。

第57回 日本伝統工芸展



国内最大規模の工芸公募展で今回57回目を数える「日本伝統工芸展」で、上野焼渡窯の渡久兵衛さんと仁さんが2年連続となる親子入選を果たしました。この工芸展は、日本の優れた伝統工芸の保存と後継者育成を目的として、日本工芸会が開催。陶芸部門に1121点もの応募がある中、厳しい審査を経て朗報がもたらされました。渡窯11代目の父・久兵衛さんは茶陶の趣深い「上野鉄釉一重口水指」を、子・仁さんは上野の品格が漂う「上野ヤケ釉壺」を出展。400年を超える伝統から生み出され、今日まで脈々と伝えられた技と美が、全国で高い評価を受けました。

traditional craft

visiting facility

先進的な教育環境の開発と導入を目的とした韓国教育環境研究院のメンバー30人が、11月9日に市場小と上野小を訪問しました。カメラやメモを片手に学校の隅々まで見学した研究員は、特に日本が世界に誇る耐震技術やエコ設備に興味深い様子で、説明する内容にじっと聞き入っていました。機能的な校舎だけでなく、児童の様子にも関心が寄せられ「子どもたちをより良い環境で学ばせたい」という共通の思いを確認。日韓交流を推進している福智町での今回の訪問を通じて、両国のさらなる教育環境の向上と積極的な国際交流が期待されます。



校内の様子を記録する韓国の研究員

韓国教育環境研究院教育施設視察

交流深まる韓国から研究員が市場小・上野小を訪問

タウントピックス & ニュース in FUKUCHI

public auction

滞納者から差し押さえた物品を販売する「公売会」が、10月23日に福岡県飯塚総合庁舎で開かれました。福智町も参加し、筑豊地区の3市3町による初めての試みです。230人が訪れた会場には、新米・陶器・貴金属が並びなど、それぞれの品が反響を集めました。当日出品された191点のうち、120点が落札され、売り上げは約99万円。福智町の物品にも16点中10点に買い手がつき、滞納町税の解消につながりました。今回のように、滞納すれば財産が差し押さえられかねません。大切な品が公売されないためにも、税は納期限内に納付してください。



貴重な物品も並んだ会場

筑豊地区合同公売会

滞納町税解消のため福智町も参加し初開催

母校に感謝の気持ちを込めて寄贈



古希を迎えた方城中同窓生のみなさん

70歳の古希を迎えたことを記念した方城中第9期卒業生（昭和31年卒）の同窓会が10月24日に開かれました。直方いこいの村に80人が集ったこの日「自分たちを教え、導いてくれた母校に恩返しをしたい」と発案した記念品を母校に寄贈。方城中にはテント一張、伊方・弁城の両小学校には図書券が、感謝の言葉を添えて贈られました。同窓会には2人の恩師も参加。4時間半におよぶ宴は、当時に思いをはせたり、これまでの人生や近況を語り合うなど、終始盛り上がりを見せました。最後は炭坑節でしめくくり、参加者には歩数計が配られ、恩師にはつえが贈呈されました。

alumni association

祝古希記念方城中第九期同窓会

一緒に口ずさみたくなるような、すてきなハーモニーに包まれた「ふれあいコンサート」。伝統の合唱コンクールで培われた金田中の歌声も会場に響きました。



ふれあいコンサート



歌謡・詩吟発表会

6時間にわたる熱唱が会場に響いた「歌謡・詩吟発表会」。歌手の藤かおりさんが特別ゲストで登場し4曲を披露しました。



一人ひとりが主役を演じました。1日目は、躍動感あふれるリズムダンス、2日目は、あでやかな衣装に身を包んだ日本舞踊と伝統芸能を披露。「和」と「洋」の個性が光る年に一度の晴れ舞台に、惜しめない拍手が送られました。

最終日の11月21日には「ふれあいコンサート」の素晴らしいハーモニーが、地域交流センターのステージから流れました。出演した8団体とゲストの金田中生徒の歌声が、耳を傾ける人の胸を打ち続けました。

この日、中央公民館では「町民囲碁大会」に出場した42人が、静かな熱戦に集中。コスモス保健センターでは「謡曲・仕舞」の芸能発表会が開かれ、会場は重厚な雰囲気になりました。

芸術の秋にふさわしく、展示、歌謡・詩吟、芸能、音楽、教養の各部門で繰り広げられた福智町文化祭。紅葉で色づくこの町に、文化という鮮やかな彩りが添えられた3週間でした。

ザーや露店など、施設前の活況をそのまま映したように、11月6日の金田分館のステージでは「歌謡詩吟発表会」の100におよぶ演目が展開。スポットライトを浴びながら、自慢のノドで観客を魅了し、客席から声援が飛び交いました。

翌週の11月13日からは2日間にわたる「芸能発表会」が幕開け。延べ120人の出演者が地域交流センターのステージに立ち、



ザーや露店など、施設前の活況をそのまま映したように、11月6日の

感動の共演

いくつもの個性が共演し、一つのステージを創り出す。いつしか会場全体が一体になっていく…。文化の祭典で、小さな町を彩った晴れ舞台が、大きな感動と拍手に包まれました。



伝統発表を締めくくった謡曲・仕舞の舞台。静寂の中、重厚な謡曲が流れました。



芸能発表会



伝統芸能や民舞・剣舞が披露された2日目の舞台。演目が終わるたびに客席からの喝采を浴びていました。

「芸能発表会」の初日を飾ったリズムダンス。ステージ全体で軽快に身をこなし、躍動する姿で会場を魅了しました。

碁盤を舞台に頭脳戦が展開された「町民囲碁大会」。出場者の級にあわせて対戦が組まれ、勝者も敗者もお互いをたたえました。



町民囲碁大会



06 滞納

滞納額は約32億8千万円

税金や使用料などで21年度までに納められなかった金額は、約32億8千万円まで膨らんでいます。今後も納期内に納付した人や納税義務の公平性を保つために、差し押さえや法的措置などの厳しい措置を行います。

平成21年度までの主な滞納額	
町民税	1億5,517万円
固定資産税	2億3,335万円
軽自動車税	3,460万円
国民健康保険税	2億3,480万円
保育料	7,507万円
住宅等使用料	2億1,990万円
住宅管理料	1,145万円
学校給食費	3,645万円
住宅新築資金等貸付金	19億9,619万円
水道使用料	2億9,027万円

05 地方債（普通会計）

町の借金残高は約227億円

年度を越えて元利を償還する借入金を「地方債」といいます。21年度末の残高は20年度から約5億6千万円解消し、約227億円となりました。福智町の場合、償還額の一部が普通交付税措置されるものが多く、試算では約65%が見込まれますが、財政負担を圧迫しています。今後も合併効果を表しながら借金を減少させないといけません。



04 特別会計

国保と診療所が大幅な赤字を抱える

特定の事業を行うために一般会計と分けて設置される特別会計では、国保が約7億4千万円、診療所が約2億5千万円の赤字を出し、厳しい状況に直面しています。

区分	歳入	歳入歳出差引
老人保健特別会計	1,022万円	347万円
後期高齢者医療特別会計	2億4,743万円	328万円
国民健康保険特別会計	26億1,356万円	－7億3,951万円
町立診療所事業特別会計	7億2,266万円	－2億4,978万円
住宅新築資金等貸与事業特別会計	3億9,866万円	1,394万円
水道事業特別会計(収益的事業)	5億7,452万円	3,190万円
田川郡町村公平委員会	233万円	33万円

03 健全化判断比率・資金不足比率

早期健全化基準はクリア

健全化判断比率	福智町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 *1	― (△ 9.25%)	13.86%	20.00%
連結実質赤字比率 *2	― (△ 1.87%)	18.86%	40.00%
実質公債費比率 *3	14.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率 *4	― (△ 41.4%)	350.0%	―

健全化判断比率	福智町	早期健全化基準	備考
資金不足比率 *5	― (△ 84.3%)	20.0%	水道企業会計での算定

※ 赤字が生じない場合は「―」で表示。参考値の黒字比率を(△)内に掲載。

*1 普通会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率

*2 すべての会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率

*3 借金の返済額等の大きさを資金繰りの危険度をみる比率

*4 町が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度をみる比率

*5 企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度をみる比率

決算概要

財政硬直からの脱却

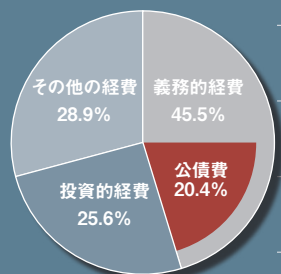
滞納解消・歳出の無駄を徹底的に省く

歳出を前年度と比較すると約32億円の大増額となっています。その要因は、繰上償還を含む公債費が7億5千万円の増額・学校給食センター建設を含む普通建設事業費が20億1千万円の増額・昨年7月の集中豪雨に伴う災害復旧事業費が3億5千万円増額したことによるものです。今後の財政運営については、自主財源の根幹をなす税や使用料、貸付資金などの徴収率の向上。さらに、歳出の無駄を徹底的に省くとともに、合併特例事業等を効率的かつ有効的に活用し、中期財政計画をもとにして財政の硬直化からの脱却を図ることが早急な課題となっています。

02 一般会計歳出

歳出額は約161億1千万円

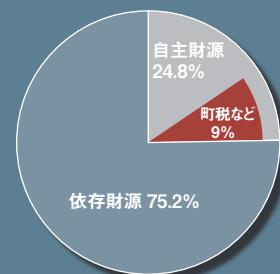
前年度に町が支出した一般会計の総額は161億1千万円。これを性質別に見ると、人件費・扶助費・公債費の「義務的経費」が約73億3千万円で全体の45.5%、そのうち借金を返済する公債費は約32億8千万円で全体の20.4%となっています。また「投資的経費」は約41億4千万円で全体の25.6%、そのうち普通建設事業費が昨年より20億1千万円増額の約33億7千万円で全体の20.9%を占めています。



01 一般会計歳入

歳入額は約170億5千万円

町に入った昨年の一般会計の歳入は170億5千万円でした。内訳は、国や県に頼った依存財源が75.2%、町でまかなう自主財源が24.8%です。しかし自主財源には全体の4.6%にあたる基金の取り崩し(約7億9千万円)や前年度からの繰越金(約7億6千万円)が含まれています。町税などの収入は9%で、全体の1割しかありません。依存財源の中で最も多い割合は地方交付税で、歳入全体の35.3%を占めています。



決算

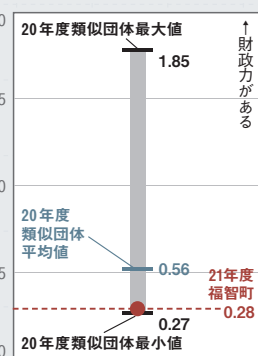
平成21年度 まちの財政通信簿

平成21年度決算がまとまりました。歳出決算額は約161億円で、実質収支は6億9千万円の黒字でした。前年度の町のお金と財産の現状、今後の課題をみなさんの目でチェックしていきましょう。

09 財政力指数

全国最低水準の財政力

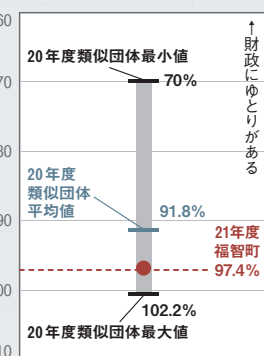
基準財政収入額を基準財政需要額で割った過去3年間の平均値が「財政力指数」です。指数が高いほど自力があり、指数が低いほど国への依存が強いといえます。町の財政力指数は20年度類似団体の最小値と同程度。全国最低の水準です。今後、収納率の向上や地場産業の活性化、企業誘致など財政基盤の強化が求められます。



08 経常収支比率

昨年度より2.6%減少も依然危険水準

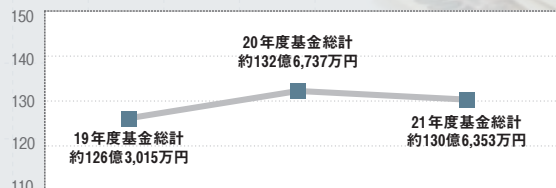
人件費など毎年必ず必要とする経費を比較的安定している収入で割った指数が「経常収支比率」です。「財政構造が弾力性を失い硬直化している」とされる危険ラインが現在の福智町。普通会計の経常収支比率は97.4%となっています。20年度より2.6%減少しましたが、ゆとりはなく、今後も人件費を含む経常経費削減の徹底を図ります。



07 基金（普通会計）

町の貯金残高は約131億円

法律や条例に基づいて設置される「基金」は、特定の目的のために活用できます。普通会計では24の基金があり、21年度末の残高は約130億6千万円です。21年度は借金の返済のために繰り上げ償還を実施。減債基金を約6億3千万円取り崩しましたが、その他の基金もあり、昨年と比べ2億円の減少でとどまっています。



 **Fukuchi town**

42.04km²

56 人
32 人

**Fukuoka
prefecture**

Fukuoka
prefecture

←今年2月、福智町音楽祭で観客に感動を与えたDOYO組。

保健の掲示板

予約してね!

腎臓病予防教室 check!

“特定健診”ご存じですか？

保健師だより No. 46

国の基準値を大幅に下回る
町の健診受診率

特定保健指導は、特定健康診査の結果を踏まえて、生活習慣病の発症リスクが高い人が健康状態を知り、生活習慣の改善に向けて自主的に取り組めるようにサポートをする制度です。リスクの程度に応じて、「動機付け支援」と「積極的支援」に分類。医師や保健師、管理栄養士が対象者とともに、各人の生活習慣を振り返り、減量や運動などの個別の行動目標を設定します。例えば、就寝前の食事摂取を控えたり、階段の利用を増やすなど、対象者が取り組むことができる範囲で必要となる行動計画を作成します。自身の健康を見つめる良い機会です。健康について一緒に考えていきましょ。

This bar chart displays the population aged 65 and over in 2021 (light gray bars) and 2022 (dark gray bars) for seven municipalities: 弁城 (Bench), 伊方 (Ikata), 赤池 (Akaike), 上野 (Ueno), 金田 (Kanda), 市場 (Ichiba), and 神崎 (Kanzaki). The chart also includes three horizontal reference lines: the national average (65%), the target value (45%), and the minimum average (33%). The Y-axis represents the number of people in thousands, ranging from 0 to 70.

自治体	平成21年 (千名)	平成22年 (千名)
弁城	18	21
伊方	18	21
赤池	12	17
上野	15	17
金田	15	16
市場	9	15
神崎	12	13

国基準値 65%
町目標値 45%
最低基準値 33%

平成21年
平成22年

特定健診には「受診率」、「保健指導率」など、目標値が国から設定されています。町の現状は、国の基準値の3割にも届かない、約16%の受診率となっています。健診の受診はみなさんの健康を守り、医療費を抑制するだけでなく、今後の保険税の抑制にもつながります。ぜひご協力ください。

●平成24年度国の健診基準値	▼65%
●平成20年町内の健診受診	▼16%
(全国平均30.8%)	
●平成20年町内の保健指導	▼62%
(全国平均14.8%)	
●平成21年町内の健診受診	▼16.2%

受診はお早めに！

問 福智町役場住民課 保険係 ☎ 22-7761

pick up 福智町農産物直売所

農産物直売所の
歳末大売り出し
新年の準備は町内で！

【上野の里ふれあい市】
▶休業日 12月31日(金)～1月6日(金)
▶歳末大売り出し 12月26日(金)～30日(金) 12時まで
▶もちつき 12月26日(金) 10時～
▶正月用もち注文受付期限 12月28日(火)
※受け取り2日前までにご注文ください。
料金：500g 500円

【カナダふれあい朝市】
▶休業日 12月30日(金)～1月7日(金)
▶正月用もち注文受付期限 12月15日(火) 12時まで (電話不可)

【方城特産館ふくちの郷】
▶休業日 12月31日(金)～1月4日(火)
※12月30日(金)は16時まで、1月5日(水)は12時からの営業です。
園 役場農政課 農政係 ☎ 22-7767

12月解放講座
今回は、1914年12月15日に発生した日本最大の炭鉱事故「方城大非常」を学習します。また今回の講座は事故が起ったまにその日、筑豊を支えてきた炭鉱労働者を巻き込んだ悲惨な事故について、ぜひ一緒に学びましょう。
日時 12月15日(金)19時～
場所 福智町ほのぼの館
園 ほのぼの館 ☎ 22-6390

看護職員等の事務従事者届
保健師、助産師、看護師、准看護師、歯科衛生士および歯科技工士の業務に従事している人は、2年ごとに、住所・氏名などを届け出ることが法律で義務づけられています。該当する人は、田川保健福祉事務所へ届け出てください。届け出用紙は、田川保健福祉事務所または各保健所にあります。

工業統計調査にご協力を
製造事業所を対象とした「平成22年工業統計調査」が行われます。12月から来年1月にかけて調査員が伺いますので、正確なご記入にご協力をお願いします。
調査基準日 12月31日(金)
園 企画振興課 企画振興係 ☎ 22-7766

人権週間講演会
春日市クローバープラザで「人権週間講演会」が開催されます。午前中は映画「ハッシュ」の上映、午後は、性同一性障害当事者である虎井まさ衛さんの講演会などが行われます。この機会に、人権について考えてみませんか。

へいちくカレンダー発売
平成筑豊鉄道では、沿線の四季折々の写真を織り交ぜた平成23年版カレンダーを発売しています。
料金 1冊500円
園 平成筑豊鉄道営業課 ☎ 22-1000

福岡県最低賃金
10月22日から福岡県の最低賃金が改定され、1時間692円になりました。また、産業別最低賃金も12月10日(金)から改訂されます。
園 福岡労働局労働基準部賃金課 ☎ 092-411-4578

住居・生活困窮者支援対策
ハローワークでは、専門のアドバイザーによる生活支援のアドバイスを行っています。相談は無料です。お気軽にご相談ください。
日時 平日8時30分～17時15分
園 ハローワーク田川 ☎ 44-86009

養育費の電話相談
母子家庭のお母さんや離婚協議中の人を対象に、養育費の電話相談業務を実施しています。
受付時間 平日9時～16時
※ご相談は左記までお気軽に。
園 福岡県母子家庭等就業・自立支援センター ☎ 094821-0390

女性のための無料相談会
離婚、DV、多重債務、遺産相続、人権問題などの相談に、女性の司法書士と人権擁護委員が無料で応じます。どうぞお気軽にお越しください(事前予約者優先)。
日時 12月18日(日)10時～15時
場所 イイヅカコミュニティセンター401学習室

急患センター年末年始診療
田川地区急患センターは、年末年始も休まず診療します。
診療日 12月31日(金)～
1月3日(日)
診療時間 9時～11時30分
13時～16時30分
内科・小児科▶右記の時間と18時～22時30分
園 田川地区急患センター ☎ 45-7199

心配ごと相談
12月18日(土)は司法書士による特別相談を実施します。特別相談は事前予約が必要。相談無料です。
①日時 12月2日(金)10時～15時
場所 福智町役場 赤池支所
②日時 12月9日(金)10時～15時
場所 福智町公民館方城分館
③日時 12月18日(土)10時～15時
場所 金田社会福祉センター
④日時 1月6日(金)10時～15時
場所 福智町役場 赤池支所
園 福智町社会福祉協議会 ☎ 22-60631

補聴器相談
①日時 12月13日(金)13時～14時
場所 福智町役場 方城支所
②日時 12月13日(金)15時～16時
場所 福智町役場 赤池支所
③日時 12月10日(金)9時～10時
場所 福智町役場 本庁舎
園 福智町役場福祉課福祉係 ☎ 22-7763

軽油免税申請手続き
農業を営む人がトラクターなどに使用する軽油については、本人の申請により、軽油引取税が免除される「免税証」が交付されます。免税証の交付には、必ず申請が必要ですので、12月末までに「免税証交付申請書」と「耕作証明書」を、飯塚・直方県税事務所まで郵送してください。免税証の交付日や必要書類など、くわしくはお問い合わせください。

ひらばる幼稚園園児募集
対象 3歳児▶60人
4・5歳児▶若干名
(未就園児クラスあり)
保育時間 9時～14時30分
預かり保育 7時40分～18時
※土曜日・長期休暇も実施します。
給食 週4回(金は弁当)
保育料 1万6千5百円
(補助金あり)
募集締切日 12月22日(金)
※締め切り後も随時受付。
園 ひらばる幼稚園 ☎ 22-5622

陸上自衛隊学生募集
平成23年4月からの陸上自衛隊高等工科学校の生徒を募集します。
資格 平成23年4月1日現在で15歳以上17歳未満の男子
試験日 1月22日(日)
試験場所 飯塚開発センター
受付締切 1月7日(金)
【保護者向け学校説明会】
日時 12月19日(日)10時～13時
園 自衛隊飯塚地域事務所 ☎ 0948-221-4847

年末年始の犬猫の引き取り
田川保健福祉事務所では、次の期間、犬・猫の引き取り業務をお休みします。
①日時 12月11日(土)10時～16時
場所 クローバープラザ(春日市)
園 福岡県人権啓発情報センター ☎ 092-584-1271

子育て支援センター行事
就学前のお子さん親子で参加してください。すべて10時30分開始。
①親子リズム遊び▶12月3日(金)
②誕生会▶12月10日(金)
③クリスマス会▶12月21日(火)
※13日までに申し込みが必要。
園 子育て支援センター ☎ 22-2401

職業訓練生募集
小竹高等技術専門学校では、来年4月入校の訓練生を募集します。
募集科 プログラム設計科・自動車整備科・機械科・建築科・塗装科
募集締切 1月21日(金)
園 小竹高等技術専門学校 ☎ 0949-621-6441

福岡県巡回交通事故相談
交通事故でお困りの人は、ぜひお気軽にご相談ください。
日時 12月20日(日)10時～15時
場所 田川市役所市民課
園 福岡県交通事故相談所 ☎ 092-622-0403

事件・事故発生件数
福智町での10月中の件数です。
【事件発生件数 10件】
オートバイ・自転車盗難▶4件
車上ねらい▶1件
自動販売機ねらい▶2件
空巣 忍び込みなど▶3件
【事故発生件数 14件】
死亡▶0人 負傷者▶20人

福岡県最低賃金
10月22日から福岡県の最低賃金が改定され、1時間692円になりました。また、産業別最低賃金も12月10日(金)から改訂されます。
園 福岡労働局労働基準部賃金課 ☎ 092-411-4578

県営住宅入居者募集
募集期間 1月11日(火)～19日(金)
募集案内配布場所 役場住宅課
園 福岡県住宅供給公社 ☎ 092-781-8029

みんなでおしゃべり会
子育てについて一人でお悩まず、おしゃべり会に参加しませんか。
日時 1月6日(金)10時～12時
場所 コスモス保健センター
園 子育てアドバイザー岸谷さん ☎ 090-7380-4558

子育て支援センター行事
就学前のお子さん親子で参加してください。すべて10時30分開始。
①親子リズム遊び▶12月3日(金)
②誕生会▶12月10日(金)
③クリスマス会▶12月21日(火)
※13日までに申し込みが必要。
園 子育て支援センター ☎ 22-2401

職業訓練生募集
小竹高等技術専門学校では、来年4月入校の訓練生を募集します。
募集科 プログラム設計科・自動車整備科・機械科・建築科・塗装科
募集締切 1月21日(金)
園 小竹高等技術専門学校 ☎ 0949-621-6441

福岡県巡回交通事故相談
交通事故でお困りの人は、ぜひお気軽にご相談ください。
日時 12月20日(日)10時～15時
場所 田川市役所市民課
園 福岡県交通事故相談所 ☎ 092-622-0403

事件・事故発生件数
福智町での10月中の件数です。
【事件発生件数 10件】
オートバイ・自転車盗難▶4件
車上ねらい▶1件
自動販売機ねらい▶2件
空巣 忍び込みなど▶3件
【事故発生件数 14件】
死亡▶0人 負傷者▶20人

福岡県最低賃金
10月22日から福岡県の最低賃金が改定され、1時間692円になりました。また、産業別最低賃金も12月10日(金)から改訂されます。
園 福岡労働局労働基準部賃金課 ☎ 092-411-4578

住居・生活困窮者支援対策
ハローワークでは、専門のアドバイザーによる生活支援のアドバイスを行っています。相談は無料です。お気軽にご相談ください。
日時 平日8時30分～17時15分
園 ハローワーク田川 ☎ 44-86009

養育費の電話相談
母子家庭のお母さんや離婚協議中の人を対象に、養育費の電話相談業務を実施しています。
受付時間 平日9時～16時
※ご相談は左記までお気軽に。
園 福岡県母子家庭等就業・自立支援センター ☎ 094821-0390

女性のための無料相談会
離婚、DV、多重債務、遺産相続、人権問題などの相談に、女性の司法書士と人権擁護委員が無料で応じます。どうぞお気軽にお越しください(事前予約者優先)。
日時 12月18日(日)10時～15時
場所 イイヅカコミュニティセンター401学習室

急患センター年末年始診療
田川地区急患センターは、年末年始も休まず診療します。
診療日 12月31日(金)～
1月3日(日)
診療時間 9時～11時30分
13時～16時30分
内科・小児科▶右記の時間と18時～22時30分
園 田川地区急患センター ☎ 45-7199

県立図書館が新サービスを導入

【中央公民館からお知らせ】

福岡県立図書館で「遠隔地貸出・返却サービス」が導入されました。最寄りの図書館（室）で、約73万冊の県立図書館の所蔵資料を受け取り・返却できます。このサービスを受けるにはインターネットなどでの県立図書館の登録、貸し出しの申し込みが必要です。また、県内42の図書館から所蔵資料を借りることができる「相互貸借サービス」も行っています。見つからなくてあきらめていた本が見つかるかも。ぜひご利用ください！ 問 中央公民館図書室 ☎28-4100

世間を騒がせている「話題の本」続々入荷！

【町の図書室新刊のご案内】



再会 方城 《第56回江戸川乱歩賞受賞作品》
著／横関大 出版／講談社

23年前、圭介ら小学生4人組は警察官である圭介の父親の遺体を森の中で発見する。時は流れ、新たな殺人事件が発生。凶器は、4人がタイムカプセルに埋めた拳銃。誰がうそをついているのか？ 時を越えて衝撃の真相が明らかにされていく。

中央 断捨離

著／やましたひでこ 発行／マガジンハウス

「断捨離」とは、ヨガの行法哲学。いらない物を断ち、ガラクタを捨て、物への執着から離れることで、家と心の中のガラクタを整理し、人生をご機嫌へと入れ替えるという今までにない新しい片付け術です。あなたはモノを捨てられますか？



ご利用ください。まちの図書室

お知らせと新刊の紹介

年末年始休館日／12月29日⑧～1月3日⑧

中央公民館図書室 ☎28-4100

開館時間／9時～17時

休館日／毎月第3⑧・⑨・年末年始

貸出期間／2週間〔1度に1人6冊まで〕

おはなし会／毎月第3④・11時～

金田分館図書室 ☎22-2200

開館／9時～17時〔④・⑧・⑨・10時～16時〕

休館日／毎週⑥・毎月第2⑧・年末年始

貸出期間／1週間〔1度に1人6冊まで〕

方城分館図書室 ☎22-4300

開館時間／9時～17時

休館日／毎月第3⑧・年末年始

貸出期間／1週間〔1度に1人6冊まで〕

BOOK Info



中央

方城

「読書生活」
はじめませんか？

2010
国民読書年

すてきな一冊と出会う 一大人が示す読書の習慣一

感性や表現力、創造力を高め、人生をより豊かなものにしたり、時には直接人生に夢や輝きを与えてくれる本。本との出会いから得られることはたくさんあります。大人が読書を楽しみ、子どもが自然と本に親しむ習慣を作りましょう。

- 町内図書室 新刊一覧
- ①「4444」古川日出男
 - ②「再会」横関大
 - ③「アリアドネの弾丸」海堂尊
 - ④「藤原さんの毎日はん」みきママ
 - ⑤「龍馬伝」I・IV 福田靖
 - ⑥「ノベライズ」青木邦子
 - ⑦「2010本屋大賞」天地明察 沖方丁
 - ⑧「10代からの子育て」ハッピーアドバイス 明橋大二
 - ⑨「おせち基本帳」為後喜光
 - ⑩「二生懸命」木村由美子
 - ⑪「断捨離」やましたひでこ
 - ⑫「断捨離」やましたひでこ
 - ⑬「断捨離」やましたひでこ
 - ⑭「断捨離」やましたひでこ
 - ⑮「断捨離」やましたひでこ

福智の風

▶日本で以前から叫ばれている「格差」。教育においても、地域や家庭ごとの意識格差から「教育格差」という言葉まで生まれました。しかし本来、子どもは誰しも無限の可能性を宿しており、それを開花させるのは大人の役目です。継承される教育格差。その負の連鎖を絶ち、地域の未来を変えられるかどうかは、わたしたちの意識次第です。(日吉)

▶3週間に渡って開催された文化祭。恥ずかしながら初めて参加しました。アーティストたちが試行錯誤を重ねて作り上げた作品やステージは、とても洗練され、見る人を圧倒。感動を与えてくれる内容でした。その中で気になったことは、観客数が少ないことです。百聞は一見にしかず。来年は多くの住民の参加を切に願います。(久原)



ゲタ屋での体験実習
提供者●植田 辰生さん
撮影日●昭和34年 夏

ゲタ屋で職場体験をする方城中学生。自転車屋や呉服屋など、八幡町商店街の各店が生徒をあたたく受け入れ、時には厳しくしかりながら地域の子をばぐんでいました。

昔の写真を探しています！
問 総務課広報・広聴係
☎22-0555



四季の歌

心映の投句
俳句・短歌教室の詠歌紹介

はな・落の句会

池田 一步選

赤いシャツ似合つておりし菊日和
日の句ひ木立の句ひ小春かな
取り終へし菊の根本へ挿す名札
軽やかに風に誘はれ散る落葉
早紅葉を急かせる如く日の眩し
山里やふくろう鳴いて闇深し
庭の樹々一枝毎に秋深む
柿熟る、空雲もなく鶯の笛
へりコプター音遠ざかる暮の秋
聞こえるは水音ばかり冬紅葉

香月 眸
高津 澄子
熊谷カツミ
本島真知子
桑野 園女
井上タミ子
永末 公恵
日高八重子
松本 三男
池田 駒女

福智町金田公民館俳句教室

岩井鬼童選

秀を揃へ杉千本の天高し
結納の個々の謂れや豊の秋
捨子花人の恋しき仏たち
鴟猛り不吉な予感かすめけり
真つ白な音の飛沫も滝の秋
狢犬に留守を任せて神の旅
子の走る姿に涙運動会
丸出しの辛さ真つ赤に唐辛子
ベチャクチャと小鳥の会話日本晴
夜や長し遺影はいつも目覚めるて

松岡 萬枝
建部三由紀
長副美恵子
迫田 昌子
今井三千代
家高 恭子
仲谷ひろえ
富山 玲子
山口みち子
日比生利子

方城句会

池田 一步選

恙身の兄慰めし菊の花
法螺の音や六根清浄身に入る
柿狩は思はぬ重さもて余す
接待を両手で受ける秋遍路
秋祭近づき漢落ち着かず
浮かびみる歪みし織部稲光
幼児も身拾えして秋遍路
友の来て語る間はなし秋の暮
隠れ耶蘇遺跡の島や野菊濃し
信樂の一步退き添ふ石榴

倉石嘉代子
白石 凡子
杉 フジエ
長尾 冴子
野村 鈴子
藤井耿之助
渡邊 一枝
朝部さよ子
尾崎 和子
木村 誠一

音もなく木の葉舞い散る黄昏に塀の向こうの声にぎにぎし
信号のなかなか青にかわらぬ間綺麗じやないの木々のもみじ葉
帰り来て秋刀魚の句ひ家にみち孫子の揃ふ食卓に座す
ふたたびは遇はざる人とゆきずりに話のはずむ駅前バス停
夜更へ思ひきり捨てしブラウスをまた拾ひくる大正生まれ

越智 早苗
三村 和子
福田 昌
白石 信子
加治 智子

ともしび短歌会短歌詠草

可憐な花と味覚でおもてなし

福智町農業総合プロジェクト主催の「ソバの花フェスタ」が、10月24日に上弁城集会所周辺で開催されました。雨の中300人が来場し、毎回好評の手打ちソバが、舌鼓を打つ人の冷えた体を温めました。メインイベントの和田幸二さんによる歌謡ショーでは、フェスタをテーマに作詞・作曲したオリジナル曲が披露され、客席から歓声が飛び交っていました。



↑ 雨上がりの田んぼに、ソバの花に囲まれてはしゃぐ子どもたちの声が響きました。

↓ 緊張のスタートの瞬間。声援に応え、全員が最後まであきらめずゴールしました。



福智の風になった小さな背中に大声援

福智町子育て連主催の「ふれあいマラソン大会」が11月14日に彦山川・中元寺川合流点河川敷で開催されました。例年になく汗ばむ陽気に恵まれた中、町内の小学生80人が参加。学年や男女別の6部門で健脚を競いました。沿道の声援を背に、全力で河川敷を駆け抜けた子どもたち。息を切らしながら最後までゴールする姿に、大きな拍手が送られました。

平成の大横綱とふれあいのひととき

貴乃花親方と景子夫妻が、11月1日にひらばる幼稚園を訪問しました。22回の優勝を誇る現役時代を知らない園児たちは、貴禄ある姿に戸惑いの表情を浮かべていましたが、親方からの「園長ちゃんちえいから呼ばれて来ました」の第一声に大爆笑。夫妻の優しい声がけとさわやかな笑顔にすっかり打ち解け、握手や抱っこなど貴重なふれあいを楽しみました。



↑ 優しさにあふれた表情で園児からの言葉を受け止める貴乃花親方と景子夫妻。

↓ お米のすくい取りに熱中する子どもたち、頭上に咲くコスモスと笑顔が満開です。



雨にも負けず咲き誇ったコスモス

花いっぱい運動の会が平成11年から始めた「コスモスフェスタ」が、10月24日に記念すべき10回目の開催を迎えました。例年は町外の参加も多く、にぎわいをみせますが、当日はあいにくの雨模様。少しさびしい会場を励ますように、コスモスが咲き誇りました。その後も1か月にわたって1万㎡の畑をピンクに染めたコスモスは、多くのファンの心を和ませていました。

↓ 手にとって感触や色彩を確かめる上野焼ファン、窯元の敷地内にはお買い得な特売コーナーも設けられました。



秋の上野路を五感で満喫

多くのファンを魅了してやまない伝統的工芸品「上野焼」。今回で15回目を数える「秋の窯開き」が、10月22日から3日間にわたって開催されました。上野焼陶芸館には16窯元の個性豊かな新作やテーマを設けた創作の数々が一堂に会し、ギャラリー陶では花器を生花が彩る「華展」を開催。約5千人の陶芸ファンが400年を超える伝統美に触れました。隣接するふれあい市でも猪汁や地元の農産物が低価格で販売されるなど、来場者は季節の風情を感じながら、上野の魅力を五感で楽しみました。

赤池ベアーボーイズが堂々の準優勝

11月6日に下関市で開催された「第16回横浜ベイスターズ杯争奪下関大会」で、赤池ベアーボーイズが準優勝を勝ち取りました。広島や岡山、大分などから強豪が参加したこの大会で、一糸乱れぬチームワークを発揮。決勝まで順当に駒を進めました。決勝戦では1対0と、優勝まであと一歩およびませんでした。次につながる堂々の成績を残しました。



↑ 24人が力を合わせ手に入れた成果、チーム一丸となって次の試合に臨みます。

↓ 竹製の横笛「バーンスリ」が織りなす音色に合わせ、児童がダンスをみせました。



ヒマラヤの大地ではぐくんだ音色で魅了

世界中を舞台にした演奏活動の収益で、故郷ナパールに小学校を建設しているパンチャ・ラマさんが10月27日に伊方小を訪問しました。全校児童約300人から手厚く歓迎され、寄付金を受け取ったラマさんは、精力的な活動展開を子どもたちに約束。同日夜の地域交流センターでの演奏会では、6年生の代表17人と共演し、音とふれあいの空間を共有しました。



ば ば けい げん
馬場 勇伍くん ③
H19.12.3 生 (赤池 ひまわり)



いわ した り けい
岩下 莉玖くん ②
H20.12.16 生 (伊方 東ヶ丘)



ほん だ こ あ
本田 心愛ちゃん ①
H21.12.18 生 (金田 平原団地)



なか もり そ る と
中森 空琉斗くん ①
H21.12.17 生 (弁城 三本松)



く が こ こ な
空閑 心奈ちゃん ①
H21.12.7 生 (金田 人見)



なか もら り あ な
中村 莉愛奈ちゃん ①
H21.12.2 生 (金田 亀ノ甲団地)



はや かわ れ な
早川 怜那ちゃん ③
H19.12.22 生 (赤池 吉ヶ浦)



た ぶち ぬぎ
田淵 風ちゃん ③
H19.12.19 生 (金田 上金田)



た ぶち しやう
田淵 匠くん ③
H19.12.19 生 (金田 上金田)



い け た に う
池田 仁宇くん ③
H19.12.17 生 (伊方 前村)



い とう しやう じん
伊藤 柊人くん ③
H19.12.16 生 (上野 薬王寺)



きた やま だん だう
北山 暖道くん ③
H19.12.14 生 (神崎 人見坂)



せ ら そう ま
世良 崇真くん ③
H19.12.13 生 (上野 堀田)



たけ お ひ め
竹尾 妃萌ちゃん ③
H19.12.6 生 (上野 徳市)

年代を問わない絵本の魅力を広めて

→本の意図を心で伝えた朗読



絵本を読む会「ぶらんこ」による大人を対象にした「絵本のつどい」が10月24日にコスモス保健センターで開かれました。子どもの誕生や親子の情愛などを題材にした9冊を会員4人が声色を変化させ

ながら感情豊かに朗読。30人の参加者は子どものころを思い返すように、うなずきながら静かに聞き入り、絵本の世界に集中しました。

生力育成会が1万個のキャップを寄付

→思いを込めて手渡ししました



世界の子どもにワクチンを届けるため、生力育成会の子どもたちが1万個のペットボトルのキャップを集めました。キャップは明治安田生命を経由し「世界の子どもたちにワクチンを日本委員会」に寄付

され、活用されます。10月21日に1万個のキャップを積み上げた子どもたちは、コツコツと集めた成果を誇らしげに手渡しました。

大きなおイモさんに歓声あげてご対面

→大地の恵みを実感した収穫



澄んだ秋空が広がった10月28日に、金田保育園の70人がイモ掘りに挑戦しました。金田小裏の農園に育った丸まるとしたサツマイモを目指して、園児たちはスコップを手に尻もちをつきながら収穫

に熱中。立派なイモが姿を現すたびに、歓声があがりました。小さな腕いっぱい大きなイモを抱えて、園児たちは収穫を喜びました。

そよ風マラソンで全園児が完走

→成長した走りをみせた園児



そよ風保育園のマラソン大会が11月2日に行われました。歩き始めたばかりの園児から年長までの80人が日ごろから励む体力づくりの成果を発揮。全員が完走を果たしました。年長は約80mの園庭を

10周も駆けぬけるたくましさを見せ、励まし合いながらゴールする園児たちは、達成感に満ちたすがすがしい表情を浮かべていました。

福智のコートで展開した熱い戦い

→注目を集めた実力者の接戦



田川郡親善卓球大会が、10月24日に赤池体育センターで開催されました。卓球競技者の親睦を目的とした大会ですが、各部門で白熱した戦いを展開。町内から出場した3人が好成績を収めました。【一

般男子】▶2位:日高景年さん(市場)【シニア男子(敗者復活)】▶1位:中西秋雄さん(赤池)【シニア女子】▶優勝:有吉小百合さん(金田)

金田少年サッカークラブが2大会で活躍

→金メダルを胸に気力も充実



金田少年サッカークラブの3年生以下で編成するチームが大活躍中です。8月に飯塚市で開催された「ネバーギブアップ大会」で優勝。10月に嘉麻市で開催された「安全・安心カップ」では強豪チームを

退けて準優勝と、飛ぶ鳥を落とす勢いで実力を高めています。今後チームカラーの「元気はつらつプレー」に好成績が期待されます。

ほかほか焼きイモで心も体もポッカポカ

→甘いと好評だった焼きイモ



すずらん保育園で11月13日に「焼きイモ会」が開かれました。たき火でイモを焼き始めて約1時間、周囲は甘い香りに包まれました。116人の園児と保護者は熱々の焼きイモを口いっぱいほおばり、

秋の味覚を堪能。気温が前日より3度下がったこの日、園児と保護者の手づくりによる豚汁とパンも振る舞われ、心と体を温めました。

お相撲さんかけ声とリズムを合わせて

→笑顔と歓声に包まれた会場



お相撲さんとの共同作業が恒例の「第一保育所もちつき大会」が、11月9日に行われました。今回は佐渡ヶ嶽部屋

の琴金丈と琴齊藤の両力士が訪れ、園児50人や地域住民と交流。力士と一緒に杵を手にした園児は、普段の重さを感じさせない手つきで「ベッタン、ベッタン」と、楽しそうなか

方城中バスケ部が男女とも田川の頂点に

→誇らしげな表情の部員たち



中学校バスケットボール大会新人戦田川地区予選が10月10日に田川市で開催され、方城中バスケ部が男女アベック優勝を飾りました。決勝戦を男女とも10点以上の差で勝利し、強さをみせつけた方

城中バスケ部。12月11日に開かれる筑豊大会の出場権を獲得しました。今後さらなる目標の県大会出場を目指し、筑豊大会に臨みます。

地道な努力を实らせ福永さん初優勝

→初の優勝を飾った福永さん



宇美町で9月26日に開催された「第1回全九州壮年・レディース空手道選手権大会」に、拳成館の福永真也さんが壮年上級の部軽量級で出場。見事初優勝を手にしました。仕事

後の練習を欠かさなかった努力が実る結果となり、喜びもひとしおの福永さん。現在は指導員として後進の育成にも励み、子どもたちの指導に情熱をそそいでいます。

「福祉ネットワーク・公開すこやか長寿」を福智町で収録！

山田邦子さん来町！公開録画の観覧者を募集します

NHK北九州放送局と福智町では

「福祉ネットワーク・公開すこやか長寿」の公開録画を実施します。

観覧ご希望のかたは、次の要領でお申し込みください。

日時：1月29日 日 開場12:30～ 開演13:30～

会場：福智町地域交流センター（観覧無料）

【第1部】「福祉ネットワーク・公開すこやか長寿」公開録画



講師：武井 正子
（順天堂大学名誉教授）



司会：塚原 泰介
（NHKアナウンサー）

ゲスト：山田 邦子（タレント）

内容：「ころばない体づくり」（仮）

【第2部】講演「大丈夫だよ、がんばろう！」

講師：山田 邦子（タレント）

申込方法

郵便往復はがきの「往信用裏面」に

① 郵便番号 ② 住所 ③ 名前 ④ 電話番号

「返信用表面」に ① 郵便番号 ② 住所 ③ 名前
を明記し、次のあて先までお送りください。

あて先 〒803-8555（住所記入不要）

NHK 北九州放送局「公開すこやか長寿」係

申込期限：平成23年1月11日 必着

※ 応募多数の場合は抽選のうえ、1枚で2人まで入場できる整理券を1月20日（金）ごろ発送します。整理券は1歳から必要です。

※ ご応募の際にいただいた個人情報は、抽選結果の連絡のほか、NHKの受信料のお願いに使用させていただくことがあります。

問 NHK北九州放送局 ☎ 093-591-5002

問 企画振興課企画振興係 ☎ 0947-22-7766

©高橋里彩



山田 邦子（やまだくにこ）

● 昭和35年東京生まれ。56年デビュー以後、司会・ドラマ・舞台・講演・執筆等マルチな才能を発揮。平成19年、健康番組出演がきっかけで乳がん罹患を発見し、手術を経て仕事に復帰。その後はがんについての講演なども精力的に行い、また20年にはがん撲滅を目指す芸能人チャリティ組織「スター混声合唱団」を結成し、団長を務めている。

町長日誌

▼わたしたちは、人とかかわりの中で日々の生活を送っている。家庭・地域・職場・学校の規模や構成に違いはあっても、他者との交わりは不可避である。当然のことながら、一人ひとりが自分の思いや考えに固執しては、円滑な人間関係を築くことなどできなくなってしまう。同時に、とても不安定な社会状況をつくり出す一因にもなりかねず、わたしたちの願い（平和で心豊かに暮らしたい）とはかけ離れた環境になることは、容易に想像がつくのではないかと思う▼

▼人類は、長い歴史や経験からそのことを学び、対応策として集団における一定のきまり（法律・規則など）や教育の実施に取り組んできた。とりわけ、教育（家庭教育・学校教育・社会教育など）すべての領域を含むの果たす役割は無限大であり、完璧に機能すれば、世の中のきまりごととは不必要になると言っても過言ではないだろう。非現実的かも知れないが、そんな理想を求めて福智町の教育振興に更なる力を注いでいきたいと思っている▼ところで、京都大学の松本絃（ひづる）総長が「産官学連携ジャーナル」6月号の巻頭言で「今必要なのは、節約する（もったいない）、自分さえよければいいということを戒める（みつともない）、お互いに感謝し共生を目指す（かたじけない）」というMMKではないだろうか。これらは、日本の古くからの倫理・考え方で、今を生きる人々にもそのDNAはあり、共感できるはずだ。世界の人々と共有したい」と述べているが、現代社会に対する警告として、私たちは受け止めなければならない。

浦田 弘二